



## 北広島町 定住者の声

▲大朝・駿河城跡近くで築110年の古民家を改装し、カフェ「オトナイ」を営む白砂大地さんと江里子さん。コーヒーの豊かな香りと静かな時間が流れる中で、のんびりとインタビューをさせていただきました。

### どうして移住を？

移住したのは、2014年4月です。僕の仕事がギリギリに決まって。家を探したのは、そのあとです。知り合いから「町営住宅が空いてるよ」と教えてもらって、見に行きました。

僕は高校卒業までここにいる、大学進学で京都へ行き、そのあと大阪に住んでいました。いずれ帰ろうとは思っていましたが、ほんと「いずれ」で、10年後か20年後か…具体的には考えていませんでした。「そろそろ帰ってもいいかな」と思ったのは、2～3年前かな。仕事で大阪の小・中・高校へよく行っていたんですが、荒れてる学校も多いし、締め付けられた教育をされてる感じがして、子供たちがかわいそうだなと思うことが多かったんですよね。（大地さん）

私は生まれも育ちも大阪市東住吉区。下町です。結婚してから、豊中というところでファミリー向けのマンションに住んでいたことがあったんですが、近くに公園もないので、近所の子供たちがマンションの敷地内でボール遊びをしていたり、集まってみんなでゲームをしていたり、家の中で遊んで音が階下に響いたりして…気の毒だなと。子供が生まれたときを想像したら、ここはちょっと違うな、住みにくいなと思っていました。それで、妊娠8か月のときに引っ越しました。免許を持っていなかったので生活するうえでの不安はありましたけど、雪が降るからイヤ、とかいうことはなかったです。（江里子さん）



▲築110年の古民家を利用したカフェ「オトナイ」は、赴きあるたたずまい。

## 移り住んだときの印象は？

何回か帰省していたときは、直接ココ（大地さんの実家、現「オトナイ」）に来ていましたが、住むのは新庄なので、景色も違うし、誰も知らないし私のことを知っている人もいないし…。初めての出産だったので、子供が生まれるのも不安だし、病院が変わるのも不安だし、知り合いがいないのも不安だし…。メンタルが不安定で、フラフラ歩いてました（笑）。ただ、義母のやすこさんは知り合いが多いので、友だちに会わせてくれたり紹介してくれたり…来てすぐから気にかけてくださって、すごく助かりました。それがなかったら、今こういう仕事もしていないし、すごく感謝しています。（江里子さん）

## お仕事は？

今年5月から、「オトナイ」というカフェをしています。どうにか軌道に乗ったかなと思いますが、軌道に乗るまでは大変だったよね（奥さまをチラリ）。お客さんが来ない日が続いたり…。この半年は、あっといふ間だったような気がします。（大地さん）



▲おふたりが愛用しているエプロンも作家さんの作品。店内でも販売中

まあ今もうまくいっているわけではないですけど、思ったより<sup>ひっばく</sup>逼迫してない（笑）。今のままで満足しているわけでもないですけど、提供するものに気を抜くこと、手を抜くことは絶対にやめよう、というのは決めています。手抜きや利益優先に走ってしまったら、そのときは辞めどきだと思っているので。「ランチが美味しいって聞いてきた」とか、口コミで来てくださる方がいたりすると、やりがいを感じます。町内の作家さんたちの雑貨も置かせてもらっているんですが、いいものばかりなのでこちらにもファンがついてほしいし…そのためにも、まずは私たちが頑張らないと。まだまだ、これからですね。（江里子さん）

## ご近所づきあいは？

ありますよ。それが町営住宅のいいところだと思ってます。（大地さん）

子どもたちはみんなうちより大きくて、小学校高学年とかだったりするんですけど、うちの子をかわいがってくれたり、一緒にプールに入らせてもらったり。年上の子が下の子を見るっていう光景、なかなかないですよ。いろんな人の目があるっていうのは、ほんと安心します。改めて、こっちに来てよかったなと思います。（江里子さん）



## よかったことは？

日々いろんなことがあるんですけど、すごい幸せだなと感じたのは、8月に初めて主催した「スローな暮らし」というイベントで、ものづくりをする人たちと知り合えて、つながれたこと、その人たちどうしがつながりあってくれたこと。泣いちゃうくらい、めちゃくちゃ嬉しくて。

ものづくり一本で、命かけてやってるような人もいれば、主婦やりながらの人もいて、みんな頑張ってるな、生きてるなって感じがするんですよね。せっかくみんなが見つけたものがあって、それが生かされて人がつながって、それで収入にもつながったら、それほど豊かなことはないと思うんです。そのお手伝いをできたらいいないつも思ってます。（江里子さん）



こだわりのコーヒーをはじめとしたドリンク類のほか、日替わりのおやつとランチがいただけます。



## 苦労したことは？

帰ってきてしばらくは、(帰ってきたことを) めちゃくちゃ後悔しました。高校を卒業したときは、この町がイヤだなと思ってたんですよ。田舎だし、保守的だし、閉鎖的だし。帰ってきて、「やっぱり昔と変わってないな」と。でも、ある頃から、環境というより、自分がどういう仕事やライフスタイルを選択するかによって出会う人も変わってくるということに気づいたんです。オトナイを始めて、素敵な人にもたくさん会えたし。今は、いい町だなと思えるようになりました。(大地さん)

最初は、人の距離感の近さに戸惑いました。「めっちゃ踏み込んでくるな」とビビってました(笑)。でも、それがありがたかったり、いろんなメリットもあったりするし、結局は自分しだいかなと思います。(江里子さん)

## 北広島町の魅力って？

やっぱり僕は、人だと思います。さっき言ったことと矛盾するかもしれないけど、田舎にしては閉鎖的ではないと思ってます。とくに大朝は。誰がどこに住んでるとか、車を見たら誰がいつどこに行ったかぜんぶわかっちゃうとか、そういう意味のしんどさはあるかもしれないですけどね。大阪みたいな都会なら匿名性をもって生活できるので楽という人もいるだろうけど、人と関わりながら生きたい人は、大朝くらいの規模の町がいいと思います。

都会はなんでもお金でサービスが買えるけど、田舎はそうじゃないから、人とのつながりがないと不便。帰ってきて、人への親しみが変わりました。大阪はそこらじゅうに人がいて、みんな知らない人だらけ。ここにいても知らない人はいるけど、「同じ町に住んでいる人」だから、おばあちゃんが歩いてたりすると、ちょっと気になったりする。一緒に生きてる人だから。(大地さん)

人に対する考えとか価値観が変わりました。都会にいたら、嫌な人とか合わない人とは付き合わない！という感じでしたが、今は、ちょっと考え方が違うなという人も、どの人もみんな大朝とか北広島町を支えている人になりやすいから、みんなが「いなくてはならない人」だと感じます。(江里子さん)

## 移住を検討している方へのメッセージ

生活するうえで、自由度が高いと思います。とくに大朝は、本業を持ちながら好きなことをやっている人がたくさんいます。もちろん、ある程度の努力は必要ですけど、試してみたいものや世に出してみたいものがある人は、チャレンジしやすい場所じゃないでしょうか。田舎だからって、ぜったい農業！とかじゃない。のんびりしたいから田舎に行く、というのは古い考え方で、もっと若い人がチャレンジする、しやすい場所だと思っています。(江里子さん)

だいたい同じです。いいこと言うなと(笑)。自分が地域の一員という実感を持ちやすかったり、一石を投じると、その反響や効果が見えやすかったり…というのはあると思います。たとえばオトナイは、子育て世代がゆっくりできる場所をつくりたいと思って始めたんですが、すぐそういう使い方をする人が来てくれたり。自由度が高い、というのは、本当にそうだと思いますね。(大地さん)



▲白砂 大地(しらまさ だいち)さん 40代

江里子(えりこ)さん 20代

移居前：大阪府

現住所：北広島町新庄

移住年月：平成26年